

さより二艘曳の単船操業化

漁業生産工学部

研究の背景・目的

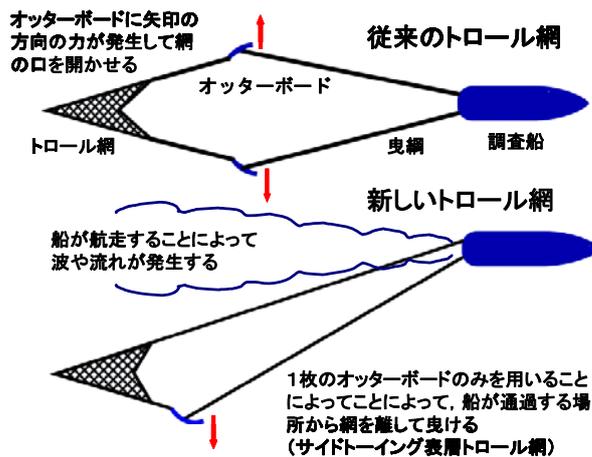
1. サヨリは、二隻の漁船で袋状の網を曳く二艘曳漁法により漁獲される。
2. サヨリ以外の種は一般に単船操業で漁獲している。
3. 単船操業化することにより操業の選択肢が広がり、経営の安定につながる。

研究成果

1. さより二艘曳漁業で用いられている曳網を航跡から離れた位置で曳網(サイドトローイング曳網)することにより、単船操業の実用化に大きく前進。
2. サイドトローイング曳網用カイトを開発した。

波及効果

さより二艘曳の単船操業化は全国的に要望が大きく、新しい漁法として普及する。



サイドトローイング曳網概念図



開発したキャンバス製カイト



さより網のサイドトローイング曳網

(漁法研究室・渡部俊広, 山崎慎太郎)